

June  
2017

No. 28

# 赤レンガ通信

第 26 回 YOSAKOI ソーラン祭り

北海道  
www.pref.hokkaido.lg.jp



## YOSAKOI ソーラン祭り

毎年 6 月、札幌の街中が太鼓の音と目の覚めるような明るい服を着たダンサーたちで彩られます。1992 年、わずか 10 チームの参加で始まった YOSAKOI ソーラン祭りは、今年約 30 万の参加者と約 200 万の観客が集まり、北海道を代表するお祭りのひとつになりました。北海道に住み始めて今年で 4 年目になりましたが、YOSAKOI の素晴らしさを初めて体験することができました。どうして今まで見に来なかったのだろうと後悔しています！

北海道は梅雨の時期がないと言われていますが、YOSAKOI の期間はたいがい雨が降ります。今年も例外ではありませんでした。というよりも、もしかしたら、今年は特に雨がひどかったかもしれません。

しかし、そんな降りしきる雨にもかかわらず、街はダンサーと観客で溢れていました。雨の中、参加者達が笑顔を絶やさず、元気よく踊っている姿を見て、思わずこちらも笑顔になってしまいました。ダンサーたちが足を踏み込むたびにピシャと跳ね上がる雨。旗を振るたび、辺りに舞う水しぶき。私もずぶ濡れになってしまいましたが、ダンサーの演技にとっても感動しました。

このイベントには、真剣に賞を狙うチームから当日飛び込み参加のチームまで様々なチームが参加します。特に印象に残っているのは、ロシア・サハリン・チームです。このチームは主にロシアからの留学生で構成され、平均年齢は 19 歳です。よさこいとロシアの伝統舞踊が融合する元気いっぱいのパフォーマンスでした。チーム全員が心から楽しんでいるのが伝わり、見ている方も楽しくなりました。

一緒に働いている北海道庁国際課の韓国国際交流員 ムン・ジソンさんは、よさこいのチームに入っており、今回そのチームのパフォーマンスも見ることができました。ムンさんは 3 年間北海道に住んでいて、YOSAKOI ソーラン祭りにも 3 回参加しています。今年、U-40 大会での優勝を狙うレベルの高いチーム「倭奏 & SKNOW (わか&すのう)」に入団しました。

倭奏 & SKNOW の練習は、1 月から始まり、振り付けを考えたり、実際に踊ったり、その上、楽器の弾き方まで練習していました。なぜかという、普段は CD 等を使って音楽を流していますが、本番では、音楽は生演奏、なんと、踊りながら楽器を弾くのです。珍しくてかっこいいです！練習は厳しくて、本番直前の二日

間の合宿の後、ムンさんはほぼ一日ベッドから起きられなかったそうです。

そんな努力のおかげで、倭奏&SKNOW は U-40 大会の準優勝チームになりました！今年 YOSAKOI ソーラン祭りにデビューしたチームが、準優勝を取るのはいすごいと思います。おめでとうございます！来年のパフォーマンスを楽しみにしています。観客をわくわくさせるパフォーマンスになるのは間違いないです。

雨にも負けず。激しい雨で壊れていく扇や和傘にも負けず。そして、疲れにも負けず。やっぱり YOSAKOI ソーラン祭りはとても感動的なイベントです。踊っているチームのエネルギーを感じて、喜ばない人はいないと思います。私もすっかり感化されてしまい、来年の YOSAKOI に出てみようかなと思っています。





# 北海道 JET スポットライト



北海道にはアメリカ、カナダ、シンガポール、中国、韓国、ドイツ、フランス、ロシアなどから約250人のJETプログラム参加者(外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員)がいます。赤レンガ通信ではたくさんの国々からやって来て現在北海道で暮らす人たちのストーリーを伝えていきます！



なぜ北海道へ来たのですか。

**A** 私は大学で日本語を勉強し、日本で働きたいと思っていました。韓国で大人気の映画「Love Letter」などを見て、北海道の雪景色に憧れ、北海道に行きたいと思いました。そしてJETプログラムに応募する際、北海道を志望し、北海道で働くことになりました。北海道は韓国内で雪景色が美しいととても有名ですが、実際に北海道に来てみたら、想像以上にきれいな雪景色だけでなく、四季を通して美しい風景が見られて、もっと北海道が好きになりました。

これまでの北海道での経験について教えてください。

**A** 北海道での生活は今年で4年目になり、今まで楽しい思い出がたくさんありました。春は長い冬の後の暖かい天気を満喫しながら桜の下でジンギスカンを食べ、夏は積丹の空色のような透明な海でシュノーケルをしたり、支笏湖・富良野等でキャンプをしながら短い夏を楽しみました。秋は定山渓や登別温泉街のきれいな紅葉がとても印象に残っています。冬は一面銀世界の中、スキーやスノーシュー等で雪を楽しみ、ワカサギ釣り体験も面白かったです。北海道は春夏秋冬いつでも楽しいことが待っています。

これまで一番印象に残っていることは何ですか。

**A** 楽しい思い出がたくさんあって、選べないくらいです。最近のことで印象に残っているのは、YOSAKOI ソーラン祭りに参加したことです。YOSAKOI ソーラン祭りは踊る人も見る人も楽しめるとても活気あふれる祭りで、私の大好きな祭りです。3年前、北海道に来た時 YOSAKOI ソーラン祭りを初めて見て感動し、私も参加したいと思い、チームに入りました。今年はYOSAKOI ソーラン祭りに参加して3年目です。日々練習をしながら、かけがえのないチームメンバーと楽しい時間を過ごすことができました。

札幌市の好きなところは何ですか。

**A** 自然を身近に感じられるところが好きです。私は札幌市に住んでいますが、大通公園ではきれいな花が見られるとともに、楽しいイベントがたくさん開かれます。他にも身近な所に中島公園、モエレ沼公園もあり、札幌市南区には定山渓温泉街もあります。札幌だけでも自然に囲まれているのですが、私の大好きな釧路等の道東の方へ足を延ばすと、より原始的な自然が広がっていてとても心が安らぎます。北海道ではどこにいても緑を感じられます。



他に伝えたいことはありますか。

**A** 北海道に来て素敵な思い出がたくさんできたのは、北海道の人々がとても親切で優しいからです。職場の方々、韓国関連イベント等に参加していただいたの方々、よさこいの友達など、初めての北海道の暮らしで不安もあった私にとっても温かく接してくれました。北海道の豊かな自然と共に豊かな心にも包まれ、最高の環境で生活を送っています。北海道に来たことがない方はぜひ北海道を訪れてください！

ムン・ジソンさんは韓国ソウル市出身、北海道の国際交流員(CIR)です。JETプログラムは4年目、今まで学校訪問や韓国語講座等、様々な場面で交流行ってきました。辛いものが大好きなので、目標は北海道中の辛いものを食べ尽くすことです。